

東洋学へのコンピュータ利用

第40回研究セミナー

とき: 2026年1月30日(金) 13:00~17:00
ところ: 国立国語研究所(立川) 2F 多目的室
主催: 京都大学人文科学研究所附属人文情報学創新センター
共催: フィールドワークとデータサイエンスを融合した超学際研究ユニット
国立国語研究所共同利用推進センター
国語研共同研究(A)「中国の文字改革期における異体字の諸相」
人間文化研究機構プロジェクト「異分野融合による総合書物学の拡張的研究」

プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶
- 13:05~13:40 『字庫』の異体字
安岡孝一(京都大学)
- 13:40~14:15 ヘボンの「日本語学習者の視点」
—『和英語林集成』と『日本国語大辞典』の比較から
今村志紀(国立国語研究所)
- 14:15~14:50 食部を例に原本玉篇の典拠情報整理について
李媛(京都大学)
- 15:10~15:45 視覚言語モデルを利用した漢籍用OCR実現の試み
守岡知彦(国文学研究資料館)
- 15:45~16:20 日本語語彙評定データの構築:ベイズ線形混合モデルによる分析
浅原正幸(国立国語研究所)
- 16:20~16:55 中世日本語辞書『撮壤集』のデータベース
萩原義雄(駒澤大学)・高田智和(国立国語研究所)
- 16:55~17:00 閉会挨拶